教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	書道Ⅰ	2	1	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
書道Ⅰ（東京書籍）	プリント

科目の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する事を目指す。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。
②思考・判断・表現	書のよさや美しさを感受し意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯に渡り書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して個々を豊かな生活や社会を創造して行く態度を養う。

評価方法

①知識・技能（行動観察・作品提出・ペン字プリント点検）
②思考・判断・表現（行動観察・作品提出・書作展作品感想）
③主体的に学習に取り組む態度（行動観察・作品提出・感想文提出）

学習計画

月	領域	単元	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A表限	漢字の書 ・用具、用材、姿勢 ・執筆法	・書道で必要とする用具、用材の専門的な名称を理解しており、用具用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。	○	○	○
		・書写の確認 ・書写から書道	・書道と書写の違いについて理解している。	○	○	○
5		・楷書 練習 臨書	・中国の古典を学習することにより、筆の使い方の時代背景を理解しており、古典に基づく基本的な用筆・運筆を身につけている。	○	○	○
			・日本文化及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	○	○	○
6	B鑑賞	鑑賞	・作品の価値とその根拠について考えようとしており、書の良さや美しさを味わうことができる。	○	○	○
7	A表現	篆刻 ・篆書の練習 （筆使い）	・印を彫ることにより辞書の使い方を理解している。	○	○	○

9	A表現	漢字仮名交じりの書 ・漢字と仮名の調和	・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりを理解している。	○	○	○
		漢字の書 ・行書 練習 臨書	・中国の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形全体の構成の関わりについて理解している。	○	○	○
			・古典に基づく基本的な用筆・運筆を身につけている。	○	○	○
10	B鑑賞	鑑賞	・作品の価値とその根拠について考えようとしており、書の良さや美しさを味わうことができる	○	○	○
	A表現	漢字仮名交じりの書 ・創作の手順 ・創作	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成などを工夫しようとしている。	○	○	○
11			・漢字と仮名の調和した線質による表現に取り組もうとしている。	○	○	○
			・作品の価値とその根拠について考えようとしており、書の良さや美しさを味わうことができる。	○	○	○
			・創作の手順を理解し、自分の好きな詩を見つけ、作品を仕上げる。	○	○	○
12	B鑑賞	鑑賞	・書作展用の作品作りができるようにする。	○	○	○
1	A表現	仮名の書 ・仮名の成立 ・仮名の用具、用材 ・仮名の筆使い	・平仮名の成り立ちを理解している。	○	○	○
			・変体仮名を理解しており、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○	○	○
			・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を持っている。	○	○	○
2			・自らの知識・技能を生かしながら、古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想をし、創作作品に取り組もうとしている。	○	○	○
3						